平成 26 年 7 月 25 日
相模原市発表資料

件　名

平成２６年上半期(１月～６月)における市内の火災及び救急概要

問い合わせ先
消防局　　予防課（火災関係）
751-9117
警防・救急課（救急関係）
751-9142

平成２６年上半期（１月～６月）における市内の火災の概要

平成２６年上半期（１月～６月）に市内で１３２件の火災が発生しました。火災による死者は２人で、負傷者は２０人です。

① 出火件数は、前年に比べ３７件の増加

出火件数は１３２件で、前年に比べると３７件増加しました。

火災種別ごとに見ると、前年に比べすべての火災種別で増加しており、建物火災は７０件で２３件増、林野火災は６件で３件増、車両火災は７件で３件増、その他の火災は４９件で８件増となっています。

火災件数が大きく増加した理由は、中央区及び南区内において、放火が出火原因として考えられる火災が連続して発生したことによることが考えられます。

（中央区田名及び千代田地区　計１１件、南区上鶴間及び東林地区　計１６件）

② 出火原因の第１位が「放火（疑い含む)」、続いて「たばこ」

全火災１３２件を出火原因別にみると、「放火（疑い含む)」が３９件（29.5%）で第１位、続いて「たばこ」２２件（16.7%)、「こんろ」１４件（10.6%)、「たき火」１０件（7.6%)、「電灯等の配線」６件（4.5%）の順となっています。

③ 火災による死者は２人、前年に比べ４人の減少

火災による死者は２人で、前年に比べると４人減少しました。

火災種別ごとにみると、いずれも建物火災で発生し、逃げ遅れによるものです。

負傷者は、２０人で前年に比べると７人増加しました。

④ 建物焼損棟数、焼損面積及び損害額は前年に比べ増加

焼損棟数は９５棟で、前年に比べると３３棟増加しました。

焼損面積は１，５０５㎡で前年に比べると８４８㎡増加しました。

損害額は５，４４２万円で前年に比べると５１１万９千円増加しました。

◆　火災の出火原因のトップが「放火（疑い含む）」

相模原市の火災の発生原因として「放火（疑い含む）」が第１位になっています。

放火による火災を防止するには、整理整頓と監視が大切です。下記のチェックポイントにそって一度身の回りを点検してください。

☆☆☆放火防止のための安全チェック☆☆☆

- □　家の周りに燃えやすいものを置かない、また、枯草は刈り取っておく
- □　ごみは、決められた日時に出す
- □　センサー付きライトなどを設置し、夜間も家の周りを明るくしておく
- □　物置や車庫にはカギをかける
- □　車やオートバイのカバーには、防炎製品を使用する

◆　たばこによる火災を防ぎましょう

たばこを原因とした火災の多くは、喫煙者の火気管理がしっかりしていなかった場合や不注意等により発生していると言えます。喫煙しているかたは、「たばこ」による火災を防止するため、次のことに留意してください。

○　たばこの投げ捨てをしない。
○　寝たばこは絶対にしない。
○　火のついたたばこを放置しない。
○　歩行中は喫煙しない。

◆　火のそばを離れない

住宅火災の原因で「こんろ」によるものが８件発生しました。中でも天ぷら油による火災は、てんぷら油の危険性は広く知られているにもかかわらず、なかなか後を絶たず、本市出火原因でも毎年上位を占めています。

こんろを使用しているときは、「少しだけなら」と火のそばを離れるのは絶対にやめてください。どんな場合でも火を止めるまでは、目を離さないようにしてください。

◆　「住宅用火災警報器」の設置していますか？

住宅用火災警報器の警報により「火災に至らなかった」、「被害が軽減できた」という事例が報告されています。

まだ、住宅用火災警報器を設置していない方は、早急に設置をお願いします。

また、既に設置済みの方につきましては、取扱説明書に従い、定期的なお手入れをお願いします。

問い合わせ先
消防局予防課
042-751-9117

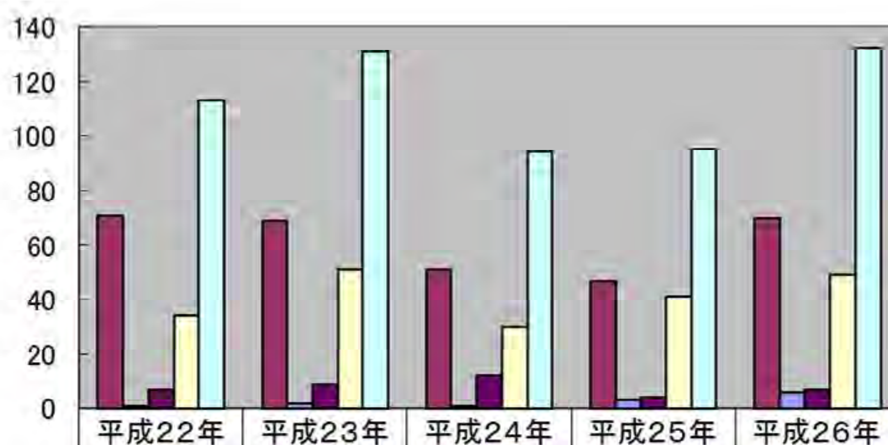
資料

火災概要

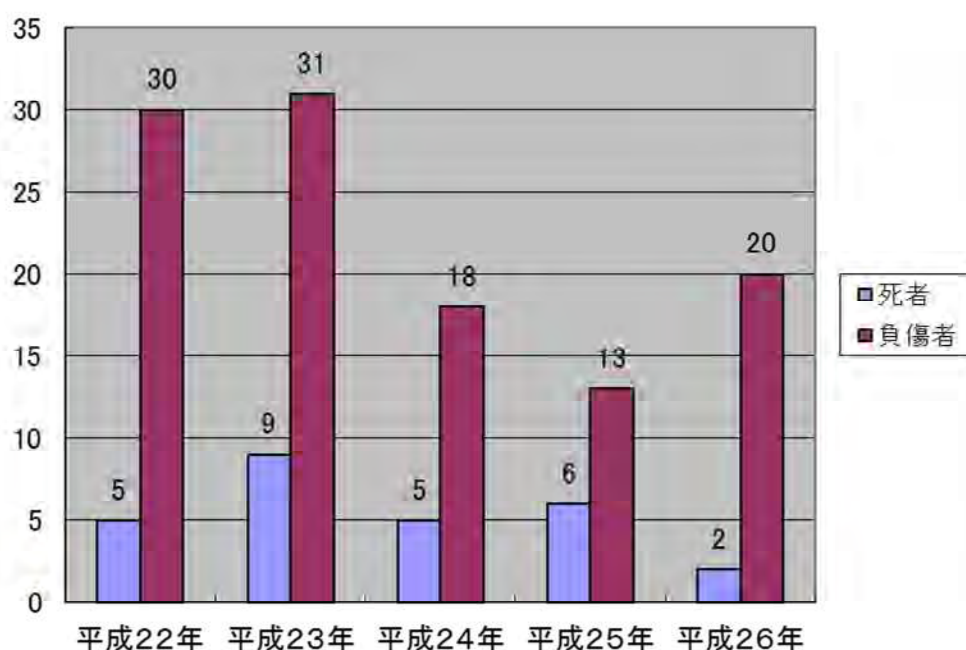
項目			平成26年	平成25年	増減
合計（件数）			132	95	37
火災種別	建物	件数	70	47	23
		面積(㎡)	1,505	657	848
	林野	件数	6	3	3
		面積(a)	18	21	△3
	車両		7	4	3
	船舶		0	0	0
	航空機		0	0	0
	その他	件数	49	41	8
		面積(a)	16.7	27.01	△10.31
原因別	失火(構成比)		84（63.6）	63（66.3）	21
	放火(疑い含む)(構成比)		39（29.6）	20（21.1）	19
	不明(構成比)		9（6.8）	12（12.6）	△3
焼損棟数			95	62	33
り災世帯			62	48	14
り災人員			140	95	45
死者			2	6	△4
負傷者			20	13	7
損害額（千円）			54,420	49,301	5,119

出火原因

平成26年 132件			平成25年 95件		
順位	出火原因	件数	順位	出火原因	件数
1	放火(疑い含む)	39（29.5%）	1	放火(疑い含む)	20（21.1%）
2	たばこ	22（16.7%）	2	たばこ	14（14.7%）
3	こんろ	14（10.6%）	3	こんろ	8（8.4%）
3	たき火	10（7.6%）	4	火あそび	8（8.4%）
5	電灯等の配線	6（4.5%）	5	たき火	5（5.3%）
その他		41（31.1%）	その他		40（42.1%）



	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
建物	71	69	51	47	70
林野	1	2	1	3	6
車両	7	9	12	4	7
その他	34	51	30	41	49
合計	113	131	94	95	132



平成 26 年 7 月 25 日
相模原市発表資料

平成２６年上半期の救急概要について（相模原市）

平成２６年上半期の救急出場件数は１６，６０３件、搬送人員は１４，９７７人で、前年の同時期と比べ救急出場件数は９１件、搬送人員は８１人増加しています。

救急件数の増加の要因としては、高齢者によるケガなどの一般負傷の増加があげられます。

救急出場件数を分析すると、１日平均約９２件、約１６分に１回の割合で救急車が出場したことになります。

救急出場の事故種別順位としては、急病（前年比２１件減）、一般負傷（前年比１０１件増）、転院搬送（前年比８７件増）、交通事故（前年比９０件減）と続いており、昨年の同時期と比べ転院搬送が交通事故を越える順位となりました。

また、救急車で搬送された人の中で約４９．９％の人は、入院を必要としない軽症者でした。救える命を救うためには、本当に救急車を必要としている人が確実に利用できることが重要です。このため、「緊急ではない」「交通手段がない」などの場合には、タクシーや患者等搬送事業者（民間救急）を利用していただくなど、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

夜間や休日における市内の医療機関の案内は、相模原市救急医療情報センター【℡０４２－７５６－９０００】をご利用ください。

問い合わせ先
消防局警防・救急課
042-751-9142

救急業務実施状況（上半期）

（１）救急概要

平成２６年上半期は、救急出場件数１６，６０３件、搬送人員１４，９７７人で前年同時期に比べ出場件数は９１件、搬送人員においては８１人増加しました。

このことは、市内で１日平均約９２件、約１６分に１回の割合で救急隊が出場したことになります。

(平成２６年４月１日現在の人口:７２０，８６７人)

救 急 活 動 状 況

事故種別区分			平成２６年（A）	平成２５年（B）	増減(C)(A-B)	増減率(%)(C/B×100)
救急出場件数			16,603	16,512	91	0.6%
傷病者搬送件数			14,841	14,752	89	0.6%
不搬送件数			1,762	1,760	2	0.1%
事故種別内訳	火災		84	68	16	23.5%
	自然災害		0	2	-2	0.0%
	水難		3	4	-1	0.0%
	交通		1,377	1,483	-106	-7.1%
	労働災害		149	135	14	10.4%
	運動競技		110	114	-4	-3.5%
	一般負傷		2,200	2,086	114	5.5%
	加害		106	114	-8	-7.0%
	自損行為		158	177	-19	-10.7%
	急病		10,302	10,306	-4	0.0%
	その他	転院搬送	1,490	1,404	86	6.1%
		医師搬送	7	9	-2	0.0%
		資材搬送	5	5	0	0.0%
		その他	612	605	7	1.2%
搬送人員			14,977	14,896	81	0.5%
性別	男性		8,032	8,005	27	0.3%
	女性		6,945	6,891	54	0.8%
程度別	死亡		242(1.6%)	257(1.7%)	-15	-5.8%
	重症		1,198(8.0%)	1,178(7.9%)	20	1.7%
	中等症		6,056(40.4%)	6,016(40.4%)	40	0.7%
	軽症		7,480(49.9%)	7,442(50.0%)	38	0.5%
	その他		1(0.0%)	3(0.0%)	-2	0.0%

*少数点以下は四捨五入

（２）搬送人員

平成２６年上半期の搬送人員１４，９７７人のうち、急病が９，４６２人と最も多く、以下一般負傷が２,０５０人、転院搬送が１,４９２人と続いています。

搬送人員を前年と比較すると全体として０．５%の増加となっています。

事故種別 順位		平成２６年		平成２５年		対前年比	
		搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
1	急　病	9,462	63.2%	9,483	63.7%	-21	-0.2%
2	一般負傷	2,050	13.7%	1,949	13.1%	101	5.2%
3	転院搬送	1,492	10.0%	1,405	9.4%	87	6.2%
4	交通事故	1,391	9.3%	1,481	9.9%	-90	-6.1%
5	労働災害	147	1.0%	135	0.9%	12	8.9%
6	自損行為	112	0.7%	125	0.8%	-13	-10.4%
7	運動競技	111	0.7%	114	0.8%	-3	-2.6%
8	その他	98	0.7%	77	0.5%	21	27.3%
9	加　害	91	0.6%	106	0.7%	-15	-14.2%
10	火　災	21	0.1%	13	0.1%	8	61.5%
11	水　難	2	0.0%	6	0.0%	-4	0.0%
12	自然災害	0	0.0%	2	0.0%	-2	0.0%
計		14,977	100%	14,896	100%	81	0.5%